



2018年の 訪日外国人消費指数の動き

~ Traveler Consumption Index ~



2019年7月24日 経済解析室

2018年の訪日外国人数は過去最高。旅行消費額も増加。

- 2018年の訪日外国人旅行消費額は、前年比2.3%の4.5兆円と過去最高。
- 訪日外国人旅行者数は、同8.7%の3,119万人と過去最高。
- 1人当たり旅行支出額※は同マイナス0.6%の153,029円。

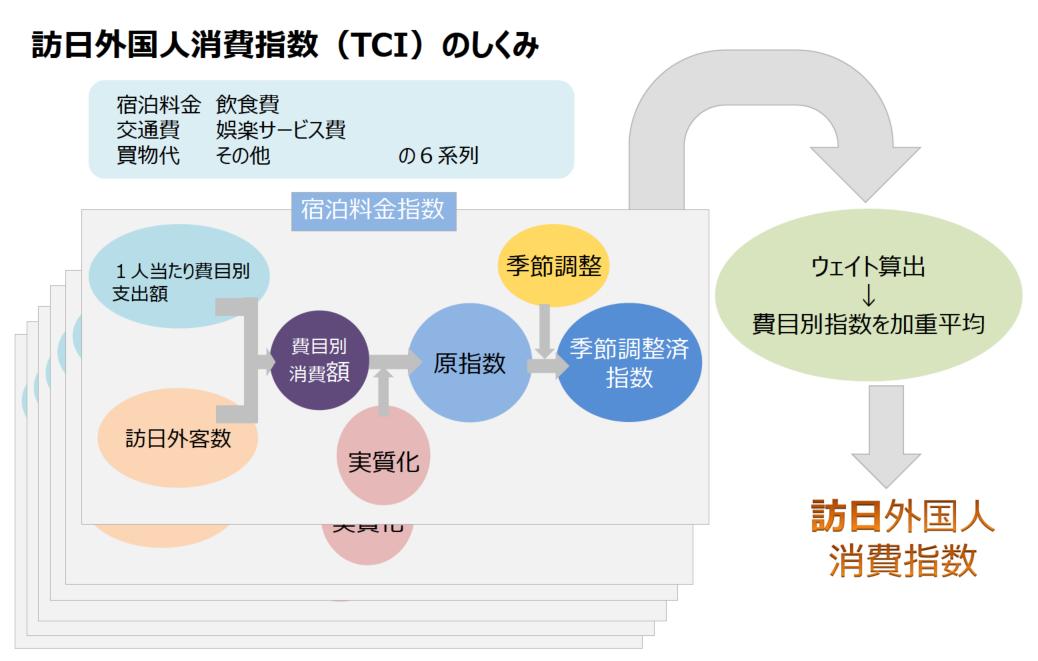
	訪日外国人旅行者数		1 人当たり	旅行支出額	旅行消費額		
	(千人)	前年(同期)比(%)	(円)	前年(同期)比(%)	(億円)	前年(同期)比(%)	
2017年	28,691	19.4	153,921	-1.3	44,162	17.8	
2018年	31,192	8.7	153,029	-0.6	45,189	2.3	
2017年IV期	7,494	23.6	152,119	3.4	11,401	27.8	
2018年 I 期	7,619	16.5	152,258	2.8	11,121	14.9	
Ⅱ期	8,280	14.7	145,397	-2.6	11,333	5.2	
Ⅲ期	7,570	1.8	157,289	-4.9	11,004	-10.6	
IV期	7,723	3.1	157,770	3.7	11,730	2.9	

(資料) 訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)

^{※2018}年より訪日外国人消費動向調査の調査方法に変更があったため、2017年以前の数値の定義とは必ずしも一致しない。 表中の1人当たり旅行支出額は「一般客」のもの。旅行消費額は「一般客」と「クルーズ客」の合計値。

訪日外国人消費指数とは?

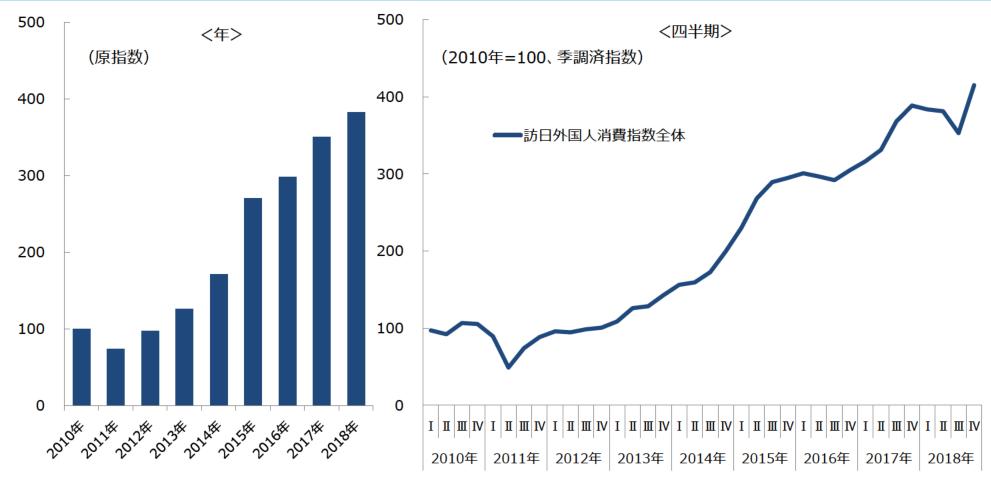
- ➤ 訪日外国人消費指数(TCI)とは、訪日外国人の消費金額を、消費者物価 指数を用いて実質指数化したもの。
- ▶ 費目ごとに実質化することにより、日本国内の価格変化の影響を除外した動きを 見ることができるように。
- ▶ 訪日外国人の消費金額については、訪日外国人消費動向調査(観光庁)の 訪日客1人当たりの費目別売上高に、訪日外客数(日本政府観光局)を乗 ずることで算出。
- ▶ 費目ごとの実質指数を加重平均するウェイトは、サービス産業(第3次産業)
 活動指数と比較できるウェイトとして算出。
- ▶ 国内のサービス産業の動向と訪日外国人消費の動きの関係を分析できるように 設計。
- ★ 試験的に季節調整を実施し、前年比だけではなく、四半期の前期比も計算でき、足下の動きの方向感も見定めることができる。



※上記図表についての詳細は、18~20頁「(参考)訪日外国人消費指数の作成方法」を参照。 (資料)訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)、消費者物価指数(総務省)などを用いて試算。

2018年の訪日外国人消費指数の動向

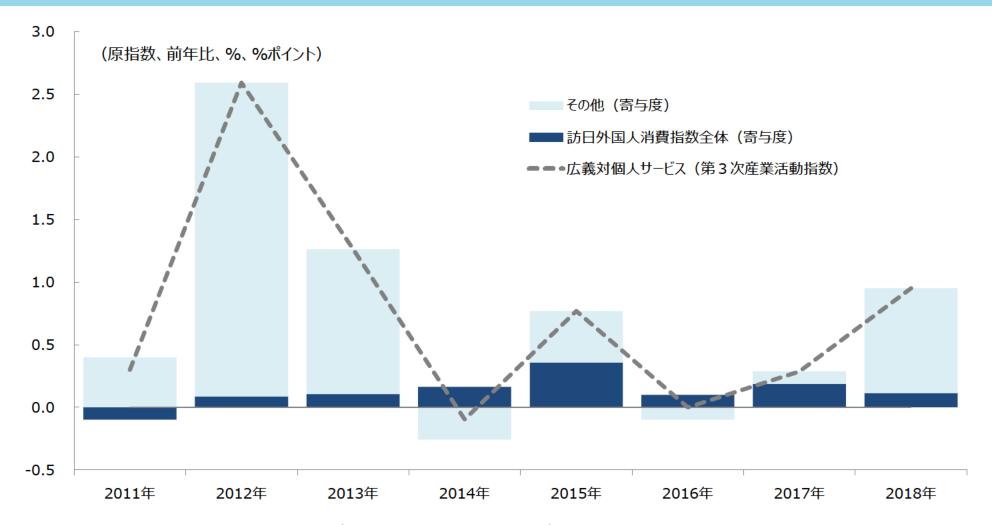
- 2018年の訪日外国人消費指数は、指数値382.5、前年比9.1%と7年連続の上昇。
- 2018年第4四半期は、指数値415.0、前期比17.6%と4期ぶりの上昇。



(資料)訪日外国人消費指数:訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)、消費者物価指数(総務省)などを用いて試算。 ※2018年より訪日外国人消費動向調査の調査方法に変更があり、従来調査の「一般客」に加え、新たに「クルーズ客」の調査が開始された。 当指数では、調査内容変更に伴う2017年と2018年の間の断層をリンク係数によって接続している。

訪日外国人消費指数の寄与(前年比)

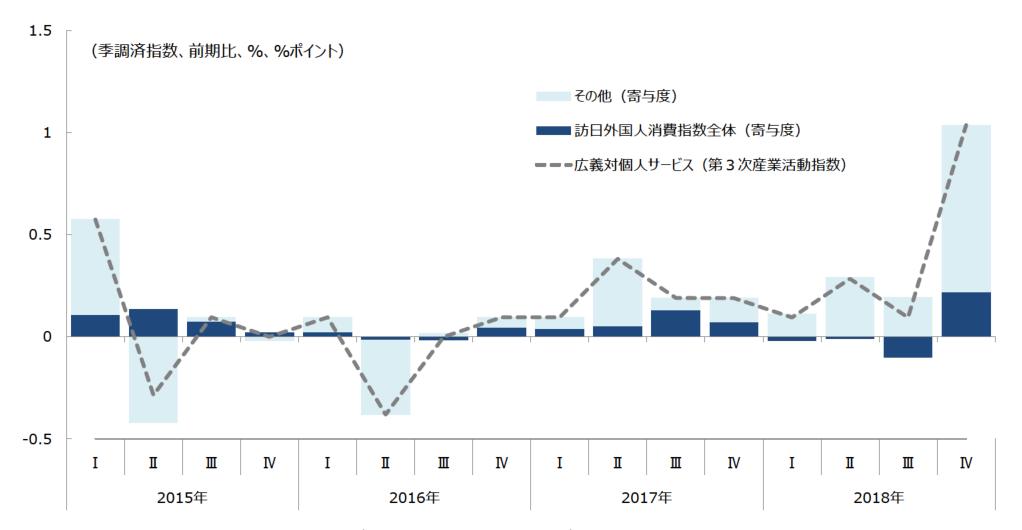
日本国内の対個人サービス活動の変動に対する訪日外国人消費指数の貢献度(寄与)をみると、2018年は、対個人サービス全体の前年比1.0%上昇に対し、訪日外国人消費指数は、0.11%ポイントの上昇寄与。



(資料) 訪日外国人消費指数: 訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)、消費者物価指数(総務省)などを用いて試算。

訪日外国人消費指数の寄与(前期比)

四半期ごとの寄与をみると、2018年第4四半期は、対個人サービス全体の前期比1.0%上昇に対し、訪日外国人消費指数は、0.22%ポイントの上昇寄与。

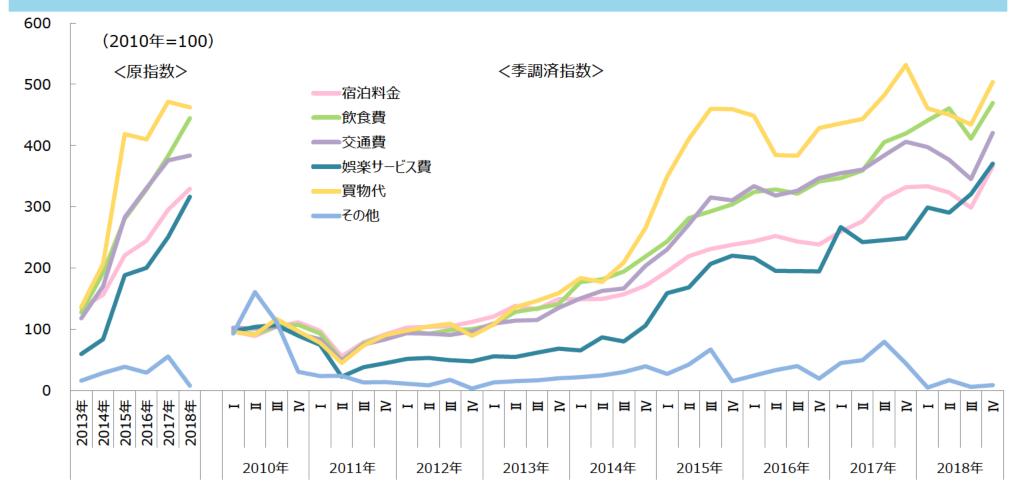


(資料) 訪日外国人消費指数: 訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)、消費者物価指数(総務省)などを用いて試算。

訪日外国人消費の費目別指数と 第3次産業活動指数の業種別の動き

費目別にみた訪日外国人消費指数の推移

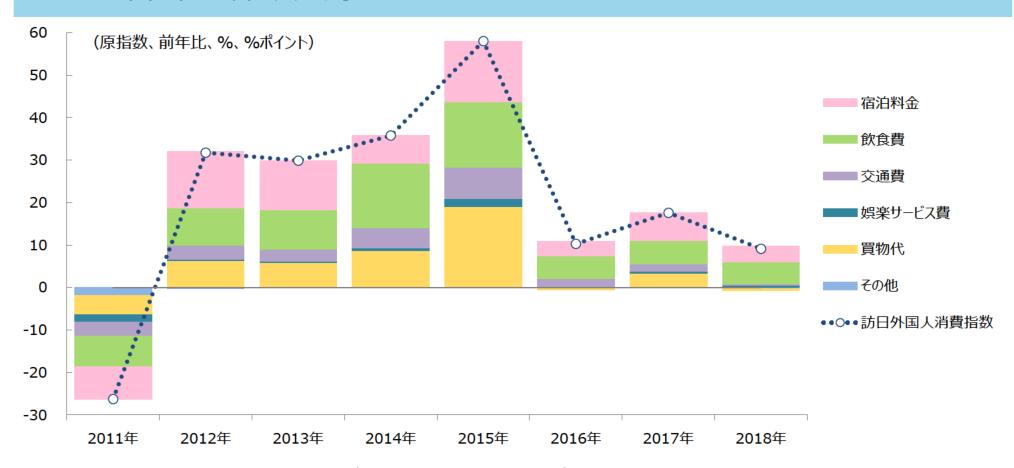
- 2018年の費目別指数の動きをみると、「宿泊料金」、「飲食費」、「交通費」及び「娯楽サービス費」が前年比上昇。上昇した費目は、いずれも過去最高値を更新。
- 2018年第4四半期は、全ての費目で前期比上昇。こちらも、「宿泊料金」、「飲食費」、「交通費」及び「娯楽サービス費」が過去最高値となった。



「資料) 訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)、消費者物価指数(総務省)などを用いて試算。

訪日外国人消費指数の費目別寄与度(前年比)

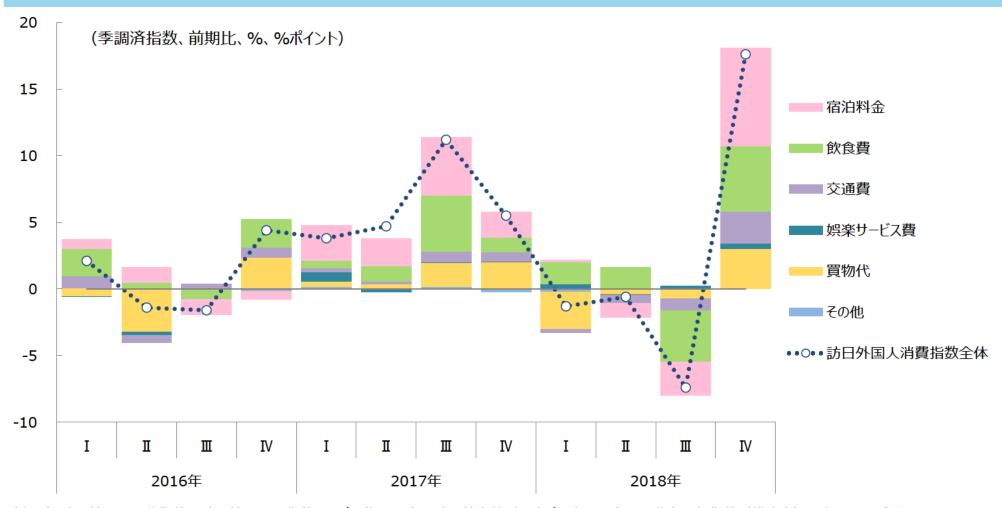
- 2018年の内訳費目別の影響度合い(全体の前年比に対する寄与度)をみると、「宿泊料金」、「飲食費」、「交通費」及び「娯楽サービス費」でプラス寄与となった。
- 2018年は、全体の前年比9.1%上昇に対し、飲食費が5.2%ポイント、宿泊料金が3.7%ポイントと上昇に大きく寄与。



(資料) 訪日外国人消費指数: 訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)、消費者物価指数(総務省)などを用いて試算。

訪日外国人消費指数の費目別寄与度(前期比)

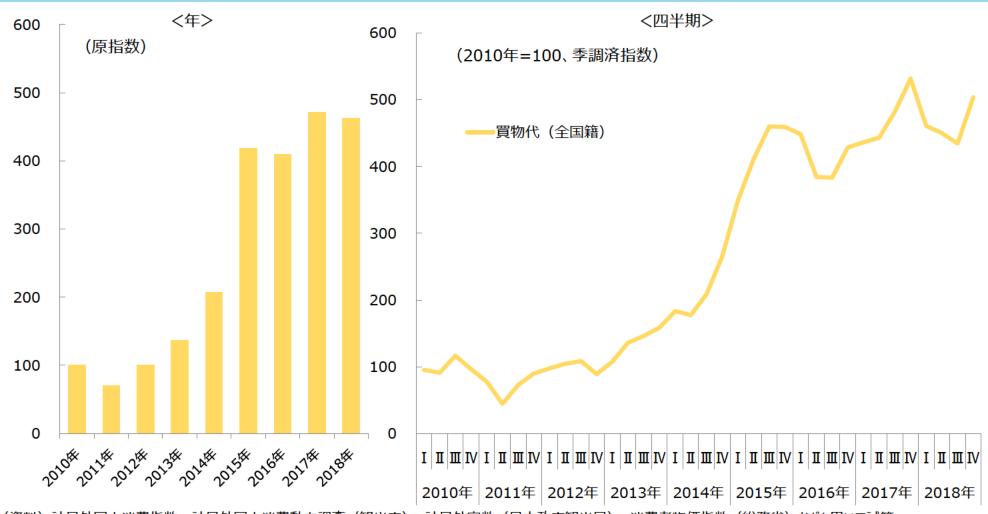
- 四半期ごとの費目別寄与をみると、2018年第4四半期は、全ての費目が上昇に寄与。
- 全体の前期比17.6%上昇に対し、宿泊料金が7.35%ポイント、飲食費が4.89%ポイントと両者が上昇に大きく寄与した。



(資料) 訪日外国人消費指数: 訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)、消費者物価指数(総務省)などを用いて試算。

訪日外国人消費 買物代指数の推移

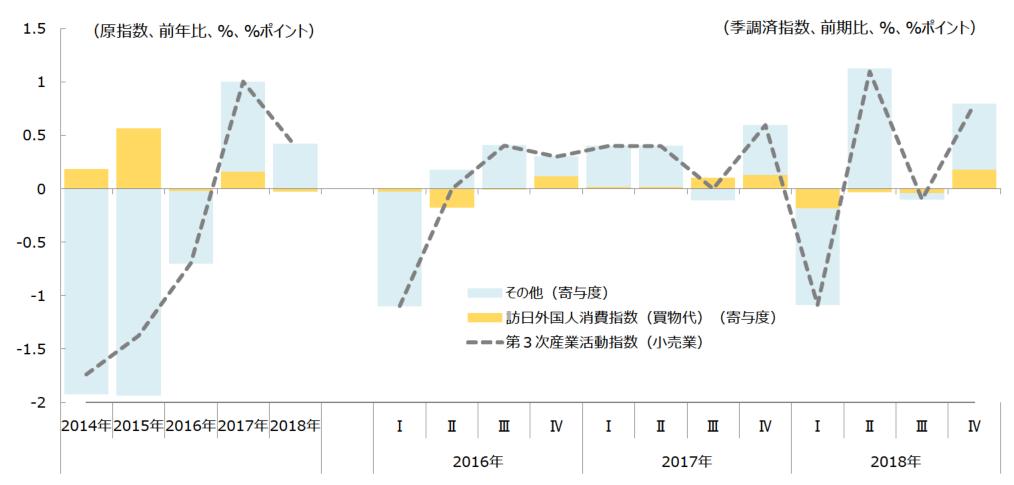
- 2018年の買物代指数は、指数値462.5、前年比マイナス1.9%と2年ぶりの低下。
- 2018年第4四半期は、指数値503.6、前期比16.0%と4期ぶりの上昇。



「資料)訪日外国人消費指数:訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)、消費者物価指数(総務省)などを用いて試算。

2014年以降の訪日外国人消費 買物代指数の寄与

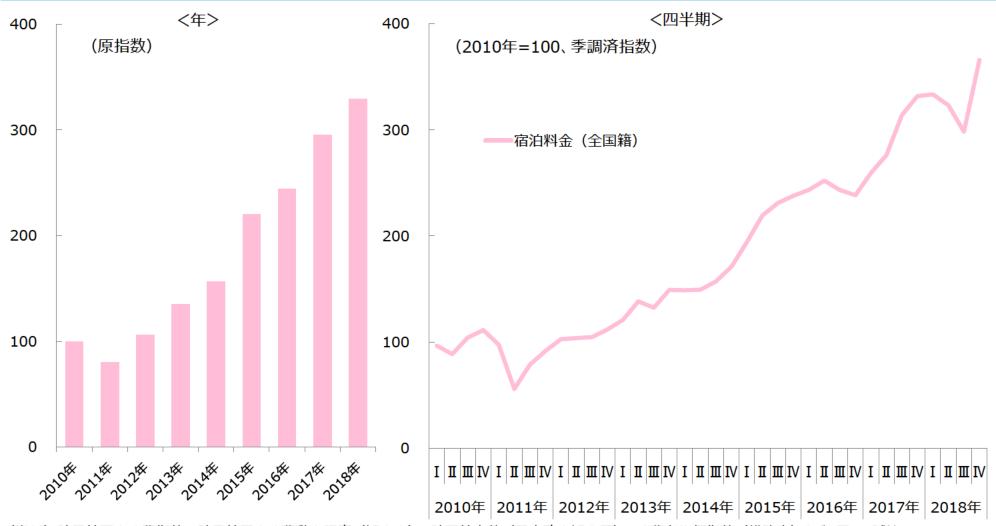
- 2018年の国内「小売業」活動に占める訪日外国人の買物代指数の割合※は、1.2%。
- 2018年の国内「小売業」活動の前年比0.4%上昇に対し、買物代指数の寄与はマイナス0.02%ポイントの低下寄与。



(資料) 訪日外国人消費指数:訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)、消費者物価指数(総務省)などを用いて試算。 ※第3次産業活動指数「小売業」に対する訪日外国人消費指数「買物代」の割合。それぞれウエイトを乗じた指数値で試算。

訪日外国人消費 宿泊料金指数の推移

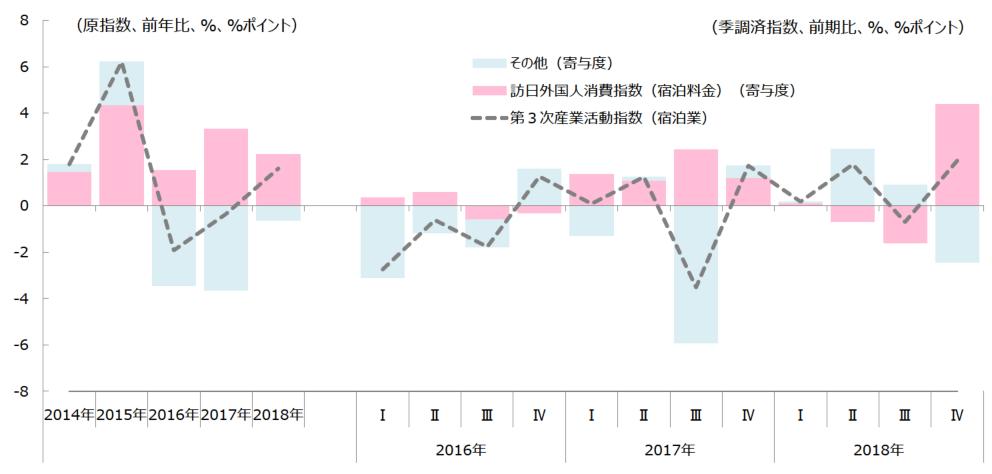
- 2018年の宿泊料金指数は、指数値329.3、前年比11.6%と7年連続の上昇。
- 2018年第4四半期は、指数値365.9、前期比22.7%と3期ぶりの上昇。



資料)訪日外国人消費指数:訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)、消費者物価指数(総務省)などを用いて試算。

2014年以降の訪日外国人消費 宿泊料金指数の寄与

- 2018年の国内「宿泊業」活動に占める訪日外国人の宿泊料金指数の割合※は、21.1%。
- 2018年の国内「宿泊業」活動の前年比1.6%上昇に対し、宿泊料金指数の寄与は2.23%ポイントの上昇寄与。



(資料) 訪日外国人消費指数:訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)、消費者物価指数(総務省)などを用いて試算。 ※第3次産業活動指数「宿泊業」に対する訪日外国人消費指数「宿泊料金」の割合。それぞれウエイトを乗じた指数値で試算。

訪日外国人消費 飲食費指数の推移

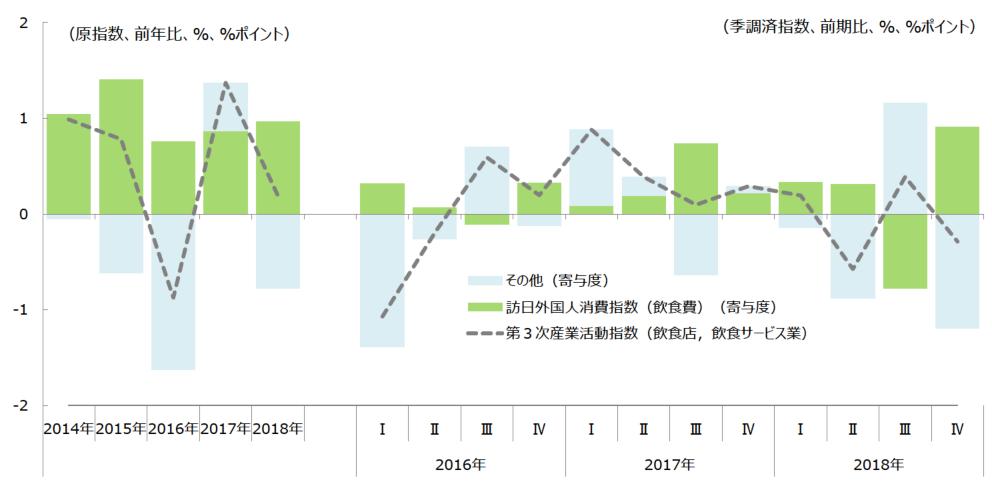
- 2018年の飲食費指数は、指数値444.5、前年比16.1%と7年連続の上昇。
- 2018年第4四半期は、指数値469.3、前期比14.1%と2期ぶりの上昇。



「資料)訪日外国人消費指数:訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)、消費者物価指数(総務省)などを用いて試算。

2014年以降の訪日外国人消費 飲食費指数の寄与

- 2018年の国内「飲食店,飲食サービス業」活動に占める訪日外国人の飲食費指数の割合※は、7.0%。
- 2018年の国内「飲食店,飲食サービス業」活動の前年比0.2%に対し、飲食費指数の寄与は0.97%ポイントの上昇寄与。



(資料) 訪日外国人消費指数:訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)、消費者物価指数(総務省)などを用いて試算。 ※第3次産業活動指数「飲食店,飲食サービス業」に対する訪日外国人消費指数「飲食費」の割合。それぞれウエイトを乗じた指数値で試算。

2018年の訪日外国人消費

- 2018年の訪日外国人数は3,119万人、旅行消費額は4.5兆円とともに 過去最高。1人当たり支出は前年比低下。
- 訪日外国人消費指数は382.5、前年比9.1%と7年連続の上昇。第3四半期までは低下傾向で推移したが、第4四半期に4期ぶりの急回復。
- 対個人サービスの前年比1.0%上昇に対し、訪日外国人消費の寄与は0.1 1%ポイント。
- 費目別の前年比への寄与をみると、飲食費と宿泊料金の上昇寄与が大きい。
- 買物代指数は、前年比マイナス 1.9%と2年ぶりの低下。指数値は462.5。
- 宿泊料金指数は、前年比11.6%と7年連続の上昇。指数値は329.3。
- 飲食費指数は、前年比16.1%と7年連続の上昇。指数値は444.5。
- 2018年は、買物代は再び前年比低下に転じたが、飲食費と宿泊料金が引き続き好調を維持し、訪日外国人消費全体としては上昇を維持した。

(参考) 訪日外国人消費指数の作成方法

個別の「費目」指数の作成方法

- 「訪日外国人消費動向調査」(観光庁)の訪日客1人当たりの費目別(宿泊、飲食、交通、娯楽、買物、その他の6項目)売上高に、「訪日外客数」(日本政府観光局)を乗じて訪日外国人旅行消費金額を算出し、消費者物価指数(総務省)を用いて実質指数化。
- 指数採用データの詳細は、次頁参照。

費目指数を加重平均して統合するためのウェイトの作成方法

- 「経済センサス活動調査」(総務省・経済産業省)の2011年の産業別売上高を、「サービス産業動向調査」(総務省)及び「商業動態統計」(経済産業省)の2011年の産業別売上高前年比で除して2010年の産業別売上高を推計。対応する産業別売上高に対する2010年の費目別訪日外国人旅行消費金額の割合を、「第3次産業活動指数」(経済産業省)の業種別ウェイトに乗じて算出。
- ウェイト算定データは、次頁参照。

第	3次産業総合	10000.0			
広	義対個人サービス	4846.2			
訪日外国人消費指数(全体)		18.129			
	宿泊料金	6.962			
	飲食費	5.398			
	交通費	2.052			
	娯楽サービス費	0.549			
	買物代	2.764			
	その他	0.404			

季節調整方法

● 米国センサス局が開発したX-12-ARIMAの機能のうちX-11の機能のみを使用して季節調整を実施。

指数作成に用いたデータ

業種名	採用データ						
未 性 石	実数データ	デフレータ					
方日外国人消費指数(全体)							
宿泊	訪日外国人消費支出(宿泊料金)=①×② ①訪日外国人1人当たり旅行支出(宿泊料金) 「訪日外国人消費動向調査」(観光庁) ②訪日外客数 「訪日外客数調査」(日本政府観光局) (以下出典は同様)	宿泊料 「消費者物価指数」(総務省) (以下出典は同様)					
飲食	訪日外国人消費支出(飲食費)	一般外食					
交通	訪日外国人消費支出(交通費)	以下の各品目の加重平均値 航空運賃、鉄道運賃(JR)、鉄道運賃(JR以外)、一般路線バス代、高速バス代、タクシー代、有料道路料、レンタカー料金					
娯楽サービス	訪日外国人消費支出(娯楽サービス費)	以下の各品目の加重平均値 教養娯楽サービス、ゴルフ練習料金、ゴルフプレー料金、テーマパーク入場料、演劇観覧料、サッカー観覧料、プロ野球観覧料、文化施設入場料、映画観覧料、ボウリングゲーム代、ブール使用料、フィットネスクラブ使用料、カラオケルーム使用料 ※訪日外国人消費動向調査の調査方法変更に伴い、2018年以降は以下の品目も追加して加重平均値を算出 入浴料、エステティック料金、診療代、マッサージ料金					
買物	訪日外国人消費支出(買物代)	以下の各品目の加重平均値 菓子類、飲料、酒類、たばこ、カメラ、ビデオカメラ、腕時計、テレビ、携帯型オーディオプレーヤー、電子辞書、ビデオレコーダー、パソコン(デスクトップ型、ノート型)、プリンタ、家事用耐久財、化粧品、医薬品・健康保持用摂取品、保健用医療用品・器具、和服、洋服、シャツ・セーター・下着類、履物類、他の被服、かばん類、玩具、書籍、雑誌、コンパクトディスク、ビデオソフト、財 ※訪日外国人消費動向調査の調査方法変更に伴い、2018年以降は以下の品目も追加して加重平均値を算出 生鮮野菜、生鮮果物、指輪、ゲームソフト ※※免税対象商品については、免税購入率(訪日外国人消費動向調査)(こより調整。					
その他	訪日外国人消費支出(その他)	総合					

ウェイト算定データ

訪日外国人消費調査					サービス産業動成 商業動態統計	ービス産業動向調査 業動態統計			第3次産業活動指数				
	一人当たり 消費支出	訪日外客数	訪日外国人 消費額		売上高 (企業集計)		前年比	売上高 (推計値)	訪日外国人 消費額の 割合(推計値)		ウェイト	訪日外国人 (全国 のウェ	籍)
	a1	a2	a=a1*a2		b		С	d=b/c	e=a/d		g		h=g*e
	2010年	2010年	2010年		2011年		2011年	2010年	2010年		2010年		2010年
	(円/人)	(人)	(億円)		(億円)		(%)	(億円)	(%)				
合計	133,426		11,490							合計		全体	18.129
宿泊料金	41,659		3,587	宿泊業	46,129	宿泊業	-6.0	49,054	7.3	宿泊業	95.2	宿泊	6.962
飲食費	26,598		2,290	飲食店	132,290	飲食店	-6.1	140,862	1.6	飲食店,飲食サービス業	332	飲食	5.398
交通費	14,120	8,611,175	1,216	運輸業,郵便業 自動車賃貸業	565,913	運輸業,郵便業 自動車賃貸業	-4.2	590,573	0.2	運輸業,郵便業 自動車賃貸業	996.8	交通	2.052
娯楽サービス	6,803		586	娯楽業	262,142	娯楽業	-10.8	293,852	0.2	娯楽業	275.2	娯楽サービス	0.549
買物代	41,273		3,554	小売業	1,291,802	小売業	-2.3	1,322,212	0.3	小売業	1028.1	買物	2.764
その他	2,973		256								·	その他	0.404



こちらも是非御覧下さい!





◎ <u>ミニ経済分析</u>:色々なテーマありま

す









ぜひお手持ちの電話で QRコードを読み取って 下さい!!

【問合せ先

ご不明な点はコチラにお問合せください。

経済産業省 大臣官房 調査統計グループ 経済解析室

電話:03-3501-1644(直通)

FAX: 03-3501-7775

E-MAIL: qqcebc@meti.go.jp

Dと言解説、

○|| 経済分析、

動きで見る経済指標など